

練馬通信

No. 374

平成30年5月
練馬第二小学校
校長 大槻 亨

開校七十五周年を迎えて

校長 大槻 亨

五月二十五日は本校の開校記念日です。昭和十八年に練馬尋常高等小学校（現在の練馬小学校）から練馬第二国民学校として独立して以来、七十五周年を迎えます。練馬尋常高等小学校は、現在の練馬小学校の場所ではなく、春日町にある愛染院のあたりにあったそうです。貫井に住む子供たちは、寒い冬の日でもわら草履を履いて、遠く愛染院の近くまで石神井川を渡り、あぜ道の中を通っていたそうです。そのような中で、地域の方々に学校設立の機運が高まり、昭和六年に現在の地に第一分教場として設立されたのです。分教場として設立されるにあたり、地域の方々が土地を提供してくださり、イチヨウの木などを植えてくださったことが記録に残っています。

七十六名で三教室しかありませんでした。しかし、昭和十八年の開校当時は、一、二年生それぞれ二学級、三年生から六年生までが各一学級の計八学級、三百四十六名の児童数にまで膨れあがっていました。このような中で、現在の練馬第二小学校が練馬第二国民学校として開校したのです。

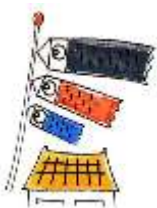
分教場時代は、運動会などの学校行事には本校の練馬尋常高等小学校まで通わなければなりません。それだけに、自分たちの住む地域の学校に通えるようになった喜びは、いかほどこだったか容易に想像できます。地域の方々に開校当時のお話を伺うと、この貫井の地に学校が設立された喜びと誇りが伝わってきます。

開校後すぐに戦争が激しくなり、群馬県への集団疎開や空襲による開校記念日の校舎の焼失など激動の開校期を迎えています。戦後は、校舎の建設、

校地の拡張、学校給食を実施するための食料調達など、戦後の食糧難時代にも子供たちが安心して伸び伸びと学校生活が送れるように保護者や地域の方々の大変なご苦勞があったことが記録に残されています。

以来、地域の学校として皆様のご支援により本校は今日まで発展してきました。四十年も続いている餅つき大会や貫井囃子の伝承、昔遊びやお米作りの指導、戦争体験等々、数え切れない地域の方々のお力が、本校を支えてくださっています。子供たちは、地域の方々とふれ合い、共に学ぶことで、地域の一員としての自覚が育まれています。

この七十五周年を記念して、開校記念日の週に記念の児童朝会を開催し、航空写真を撮影します。開校記念日を開校に携わった方々の苦勞や努力を知るとともに、その願いをしつかりと受けとめ、これからさらなる発展を目指すとする心をもてる機会としたいと思います。そのためにも、よき伝統を守り、地域の皆様とともに心もからだもすこやかにまっすぐ伸びゆく子供たちを育てていきたいと思えます。



五月の行事予定

- 1 (火) 眼科検診(全学年)
- 2 (水) 離任式
- 3 (木) 憲法記念日
- 4 (金) みどりの日
- 5 (土) こどもの日
- 7 (月) はたらく消防の写生会(一、二年)委員会活動
- 8 (火) セーフティ教室(二、四年)移動教室説明会(六年)
- 10 (木) 個人面談①
- 11 (金) 午前授業
- 14 (月) お話の会(一、二年)・クラブ活動
- 15 (火) お話の会(三、四年)・個人面談②
- 16 (水) 午前授業・研究授業(六年)
- 17 (木) 個人面談③
- 18 (金) 遠足(三、四年)
- 21 (月) 七十五周年記念集会・航空写真撮影
- 22 (火) 個人面談④
- 23 (水) 避難訓練・個人面談⑤
- 24 (木) 移動教室前検診(六年)遠足(一、二年)
- 25 (金) 開校記念日
- 28 (月) 岩井移動教室(六年)(31日)
- 31 (木) 福祉園訪問(四年)



★今月の生活目標

・きまわりをまもろう。

★週の生活目標

・チャイムの合図を守る。
・早く集合し、話を静かに聞く。